

2023年度事業報告書

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

1. 会議に関する事項

(1) 通常総会の開催

令和5年6月15日(木)にTKP東京駅にて第12回通常総会を開催し、下記全議案について議決した。

(議案)

- 第1号議案 2022年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2022年度収支決算報告承認の件
- 第3号議案 2022年度監査報告の件
- 第4号議案 2023年度事業計画承認の件
- 第5号議案 2023年度収支予算案承認の件
- 第6号議案 国際ほうろう会議開催結果報告の件

(2) 理事会の開催

回数	開催年月日及び場所	出席者数	議案	議決の結果
①	R05年6月15日 TKP東京駅	10人	1. 2022年度決算報告書の承認 2. 2023年度予算案の承認 3. 国際ほうろう会議収益金の扱いの承認	可決 可決 可決
②	R06年3月21日 TKP名古屋ルーセントタワー16F E室	8人	1. 2023年度事業概況報告について 2. 2023年度収支決算見込みについて 3. 2024年度事業計画案について 4. 2024年度収支予算案について 5. 役員改選と選任について 6. 2024年度通常総会開催の日時及び開催場所について 6. 総会までの間の工業会経費暫定支出について 7. PFAS対応の研究の必要性の検討	可決 可決 可決 可決 可決 可決 課題

2. 事業の実施状況

第1号議案

(1) 工業会の運営に関する件

i) 会員の退会・入会

退会	無し
入会	無し
現会員数	正会員 11社 賛助会員 6社 計 17社

ii) I E I (国際ほうろう協会) に関して

第25回国際ほうろう会議の日本(京都)開催に関する活動。

日程	活動内容
2023年4月6日 4月28日 WEB会議	進捗最終確認 ①参加登録(232) スポンサー(12) テーブル展示(17) ②技術セッション 発表30件、同時通訳(英日、英中)、座長決定 ③論文集 300冊発注(英語-日本語-中国語) 会議期間中(5/8日~5/11日)の予定とスケジュール・あいさつの確認 ④期間中の夕食確認(5/9日@フォーチュンガーデン、5/10日@太秦映画村、5/10日ホテルデイトー) ⑤手配物の確認(論文集、プログラム、ネックストラップ、ノベルティー、記念品、ポケットク、バナー) ⑥工場見学4社(阪和ホーロー、TMT小牧、TOTOサニテック、タカラスタンダード(名古屋))
第25回国際ほうろう会議(京都)開催の内容	
第25回ほうろう国際会議(京都)は、予定通りに実施され、実行委員会(TOMATEC様中心として)の努力により成功裏のうちに終了することが出来た。 (詳細は工業会HP参照) 期日 : 2023年5月8日(月)~5月11日(水) 会議場 : ホテルグランヴィア京都	
第25回国際ほうろう会議収支報告	
国際ほうろう会議収支報告 (添付資料①参照)	
収入の部 (会議参加費、スポンサー費、テーブル展示費)	41,711,251円
支出の部 (会場費、食事費その他)	35,812,684円
最終収支(収益金)	5,898,567円
税務処理について	
工業会会計を委託している川瀬税理士事務所に収益金の税務処理並びに会計報告について検討をお願いした。収入項目の参加費が非課税でスポンサー、テーブル展示費が課税対象となり、その比率で支出費を案分して、課税対象額を計算することで税務署の了解が得られた。	

(2) 技術・技能の向上に関する事項

i) 技術委員会の活動

日 程	実施内容
2023年6月7日 WEB開催(出席者 6名)	① 第4回通信講座についての確認 ② 2022年度技能検定試験結果報告 ③ 2023年度技能検定実技試験開催について討議
2023年9月22日 WEB開催(出席者 5名)	① 第4回通信講座進捗報告 ② 2023年度技能検定についての討議 ※実技試験は2024年2月17日にTOMATEC(株)小牧工場で開催、 学科試験は2024年1月27日にオンライン開催で決定 ③ ISO/TC107 総会について ※2023年度ベルン開催、2024年度京都開催の予定を報告

ii) ほうろう技能検定に関する活動(技術委員会)

第4回通信講座を8月~11月に実施。ほうろう技能検定試験は、学科試験をオンライン方式で1月28日に実施し、実技試験は、2月18日に実施をした。活動内容は下記の通り。

時 期	活 動 内 容
2023年8月 ~12月	<ul style="list-style-type: none"> 第4回通信講座開催(9事業所、26名が受講し、第1回配布8月、第2回配布9月、第3回配布10月、第4回配布11月と4回を受講)。 12月に修了書と通信講座のまとめを受講者に送付。
2023年10月 ~11月	<ul style="list-style-type: none"> 9月下旬に2023年度(第7回)技能検定試験開催案内を発送し、受験者募集(7事業所 24名の応募を受付けた。内訳1級 3名、2級 19名 学科のみ 2名) 受験者への受験書類並びに事業所毎の受験準備の手順書を送付。
2024年1月 ~2月	<ul style="list-style-type: none"> 学科試験、受験6会場の予備確認をオンラインで実施(12/21~12/22日)。 学科試験1/27日(土)実施(各会場をオンラインで結び、受験者20名(1級2名、2級18名)が受講した)。 実技試験2/17日(土)TOMATEC(株)小牧工場にて実施。 受験者19名(1級 3名、2級 16名)
2023年2月 ~3月	<ul style="list-style-type: none"> 学科試験、実技試験の採点と結果を技術委員に報告。 学科試験、1級合格者1名、2級合格者11名(不合格8名)。 実技試験、1級合格者2名、2級合格者13名(不合格4名)。 1級、2級合格者にはそれぞれ合格認定証と記念品を贈呈した。 また実技等級、学科等級の合格認定証について希望者に授与した。 <p>添付資料② 参照</p>

iii) 技術講演会の開催

ほうろう技術講演会は、2023年11月17日(金)にウインクあいち会場(名古屋)

第1号議案

にて対面及びリモートのハイブリッド形式で開催され、32名が参加者した。
講演項目は下記の通り。

	講演会演題	講演者
①	企業のDXを加速するデジタル活用人材の育成について	サイボウズ(株) 吉原 克志 氏
②	ほう素、ふっ素の排水処理	(合)アイル・MTT 川口 明廣氏、山村 宏二氏
③	第25回 IEI 国際珪瑯会議 内容報告	TOMATEC (株) 桑江 真一 氏

iv) 日本セラミックス協会珪瑯部会幹事会の開催

2023年度の幹事会・総会は、すべてオンラインによるWEB会議で下記の通り4回開催された。

①	年月日	2023年4月20日(水)
	場 所	WEB会議
	議 題	(1)2022年度事業報告、決算報告 (2)2023年度予算・事業計画(技術講演会)の打ち合わせ (3)珪瑯部会資料の日本珪瑯工業会HP掲載の件 (4)ISO規格関連 (5)国際ほうろう会議進捗
②	年月日	2023年6月5日(月)
	場 所	WEB会議
	議 題	(1)技術講演会に関する打ち合わせ (2)セラ協2023年度表彰推薦の件 (3)ISO規格関連報告 (4)国際ほうろう会議報告
③	年月日	2023年8月7日(月)
	場 所	WEB会議
	議 題	(1)技術講演会に関する打ち合わせ(ハイブリッド開催の準備) (2)セラ協部会長・支部会長会議報告 (3)ISO/TC107の報告
④	年月日	2023年10月4日(水)
	場 所	WEB会議
	議 題	(1)技術講演会に関する最終打ち合わせ (2)セラ協年会ポスター委員の件 (3)ISO/TC107の総会報告、次年度は京都開催予定

v) ISO/TC107規格国内委員会の活動

①	第35回ISO/TC107総会(2023年)は、ドイツ(ベルリン)で10/10日~13日に実施された。日本珪瑯工業会からは不参加。
②	ISO/TC107規格検討委員会が2回開催された 第1回委員会:2023年7月6日(水)WEB会議で開催。 (TC107総会(ベルリン)への対応について協議した。) 第2回委員会:2023年11月28日(火)WEB会議で開催。 (TC107総会(ベルリン)の報告並びに第36回総会が京都で実施されることについて協議した。)

③	第36回 ISO/TC107 総会の京都開催が決定し、その準備のための実行委員会が組織され、日本珪瑯工業会も委員として協力することになった。 実行委員会は1回/月開催されている。京都開催に際して、共催並びに分担金の依頼があり応諾した。京都開催計画案⇒ 添付資料③ 参照
④	ISO規格の投票について国内検討を実施し、2規格の投票実施、2規格について検討中。⇒ 添付資料④ 参照

(3) 環境対策

ほう素ふっ素の暫定排水基準に対するフォローアップの活動を次の通り実施した。

活 動 経 緯							
①	ほう素ふっ素暫定排水基準フォローアップ調査票（業界団体、個別事業者） 調査票提出 令和5年7月28日（電子メール書類）						
②	排水処理委員会による排水処理現地調査が、11月22日（水）春日井化工㈱様を対象に、委員及び担当者が参加して（一部オンライン参加）実施された。						
③	令和5年度 第3回排水処理技術検討会開催 年月日 令和5年12月25日（月） 場 所 WEB会議（teams会議で実施された） 議 題 ①令和4年7月以降の各事業所の対応について、②現地調査の報告 *2事業者並びに事務局がヒアリングに出席した。						
④	検討会での委員指摘事項について対応した。指摘事項（1）（1/10日メール対応）、指摘事項（2）（2/20日メール対応）						
⑤	経産省環境管理推進室からの調査依頼（2023/9/13） ・公害防止用設備に係る課税標準の特例措置（固定資産税）について、暫定排水基準の延長による設備関連の調査依頼あり。 ・調査票回答（2023/10/2）メール配信（添付資料⑥参照）						
⑥	2022年7月～2025年6月の暫定排水基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ほう素</th> <th>ふっ素</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほうろう鉄器製造業</td> <td>40ppm</td> <td>12ppm</td> </tr> </tbody> </table>		ほう素	ふっ素	ほうろう鉄器製造業	40ppm	12ppm
	ほう素	ふっ素					
ほうろう鉄器製造業	40ppm	12ppm					

(4) 安全対策事業

i) 下記の通り器物部会を開催した。

① 令和5年8月2日（水） WEB会議（出席 5名）
<p>討議事項</p> <p>1) IH 認定試験、試験材発送依頼、注意事項の説明</p> <p>2) 工業会ホームページの画像更新について</p> <p>3) ほうろう技能検定について</p> <p>①2023年度技能検定の実施方法の報告 ②通信講座開始の報告</p> <p>4) その他</p>

①ほうろう器物販売（豊珙瑯）の話題 ②原材料費、製品価格の動向
③輸入器物の統計報告（2022年）

ii) 2023年度IH認定マーク承認検査試験実施

日用金属製品検査センター、瀬戸窯業技術センターに試験を委託。

2社（野田珙瑯(株)、富士珙瑯工業(株)）と認定マークの契約書を締結した。

iii) (株)パル社3コインズほうろう器物の品質表示の件

品質表示法の表記で、「ほうろう用鋼板」使用となっていることへの問い合わせ。
(株)パルより、ほうろう用鋼板の基準を満たしていないことが分かったため
「普通鋼板」への修正告知をしますと返事があった（11/21日）。

(5) 消費者対策

消費者、消費者センターからの相談、事業者からの相談、メーカー紹介等の問い合わせに対応した。2023年4月~2024年3月までに30件の問い合わせを受け対応した。（添付資料⑤ 参照）

(6) 情報サービス

i) ホームページに関する活動

お知らせ欄の更新、国際ほうろう会議関連ページの更新及びHPからの問い合わせに対応した。直近のアクセス数：1500件/月

ii) ほうろう鉄器出荷統計、鋳物ほうろう浴槽出荷統計のまとめと関係先への配布。

並びにほうろう部品に関する燃焼機器出荷統計のまとめを関係先に配布。

iii) セキュリテイルーター設置、パソコン更新を実施。

iv) 通信（HP他）レンタルサーバー事業者の変更（事業者の撤退のため）

(7) 関連業界との交流

関連業界（日用品工業団体協議会、全国中小企業団体中央会、東京金物卸商組合）との交流。金物卸商賀詞交歓会は1月9日に開催された。研修会、講演会も、対面での開催が多くなった。キッチンメーカー、浴槽メーカー等で組織されるキッチンバス工業会の行事（台所・お風呂の川柳）は2023年11月2日に表彰式が開催され、日本珙瑯工業会賞を授与した。

(8) 中小企業庁【中小企業経営強化法】証明書発行業務に関して

中小企業経営強化税制の拡充による器具備品の品目が追加され、工業会がその認定業務（証明書発行）の委託を受け中小企業庁に報告。

2023年4月~2024年3月まで申請件数 0件

以上